

品川区すべての人にやさしいまちづくり推進計画 施策の体系

1

ユニバーサルデザインの普及啓発

計画掲載
P.30～34

- (1) 意識づくり
- (2) 担い手づくり
- (3) 支え合いのしくみづくり
- (4) 情報の提供

地域を構成する区民・事業者・行政がユニバーサルデザインに関する理解を深めるとともに、福祉関連に関わる人材の育成に努めます。
また、地域でともに支え合う参画と協働のしくみづくりや、まちづくりに関する幅広い情報提供を進めます。

2

だれもが安心して外出できるしくみづくり

計画掲載
P.35～39

- (1) 外出・移動の支援
- (2) 街なかの案内・誘導
- (3) ルールやマナーの徹底
- (4) 非日常時の安全確保

だれもが安全・快適に外出できるよう、支援や案内・誘導などのしくみづくりを推進します。
また、災害や事故・犯罪を防止したり、その被害を軽減するためのしくみを強化していきます。

3

公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進

計画掲載
P.40～45

- (1) 面的なまちづくり
- (2) 公共建築物等
- (3) 道路・公園・駐車場
- (4) 公共交通施設等

区において、公共建築物、道路、公園など公共施設のユニバーサルデザインを率先して進めます。
その際、公共施設内の案内・移動介助、コミュニケーション支援などの取組もあわせて推進します。

4

事業者に対するユニバーサルデザイン推進の支援

計画掲載
P.46～50

- (1) 事業者への意識啓発
- (2) 施設整備の支援
- (3) 補助制度の活用促進
- (4) 評価・改善のしくみづくり

多くの人々が身近に利用する公益施設（郵便局、病院、福祉施設など）や商業施設等の事業者に対し意識啓発を進め、ユニバーサルデザインの考え方に基づく施設整備を推進するよう働きかけていきます。
また、施設整備のために必要な支援を行うとともに、事業者の取組に対する評価や認定を行うしくみの導入について検討します。

【 施策の柱 】

【 施策の区分 】

【 主な取り組み実績 】 No.は資料4-3の一覧に記載の番号

1 ユニバーサルデザインの普及啓発

計画掲載 P.30~34

- (1) 意識づくり
- (2) 担い手づくり
- (3) 支え合いのしくみづくり
- (4) 情報の提供

1 ユニバーサルデザインの普及啓発

No.4 おたがいさま運動の推進

おたがいさま運動とは・・・困っている人がいたら助ける、困ったときは“助けて”と言える、支え合いのまちづくりを進める運動です。ユニバーサルデザインの知識とあわせて本運動の普及啓発のため、区民・区職員のほか、区立学校児童向けに学習会を開催し、車いす・アイマスク体験を通し、まちなかで困っている人への声のかけ方、配慮の仕方を啓発しています。



No.8 認知症サポーター養成講座

企業（金融機関・スーパー等）・町会・高齢者クラブ・区内小中学校や区職員などを対象に認知症サポーター養成講座を実施しており、当初想定以上に受講者の職種や世代が幅広く広がっています。今後は、養成した認知症サポーターおよびキャラバンメイトが、認知症カフェや地域の様々な分野で活動できるように検討していきます。

2 だれもが安心して外出できるしくみづくり

計画掲載 P.35~39

- (1) 外出・移動の支援
- (2) 街なかの案内・誘導
- (3) ルールやマナーの徹底
- (4) 非日常時の安全確保

2 だれもが安心して外出できるしくみづくり

No.22 わかりやすい街なかのサインの整備

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、多言語対応やピクトグラムについてのマニュアルを作成し、駅前に区が設置している案内サイン等を更新しています。

No.26 交通マナー啓発・交通安全教育の充実

区内各警察署等と連携して、交通安全講習の開催や、刊行物の配布等により交通安全対策を実施しています。

No.29 工事中の歩行者のためのユニバーサルデザインのルールづくり

平成20年度に作成した「工事中の歩行者のためのユニバーサルデザイン」冊子を活用し、路上工事対策確認会議にて毎年周知を行っています。

3 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進

計画掲載 P.40~45

- (1) 面的なまちづくり
- (2) 公共建築物等
- (3) 道路・公園・駐車場
- (4) 公共交通施設等

3 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進

No.32・33 拠点施設周辺におけるまちづくり重点地区の設置

商業、公共、福祉施設が集積し、多くの来街者が訪れる区中心「大井町駅周辺」と、まちづくりマスタープランにおいて地域生活拠点にも位置づけられている「旗の台駅周辺」を重点地区と設置しました。

検討は、基礎調査、庁内会議などから始まり、協議会設置、まち歩き点検などを経て、平成27年度に大井町、29年度に旗の台の計画を策定しました。



No.44 快適な道路空間の創出

歩行者が歩きやすい空間を確保するため、道路の両側に新たに歩道を設置したり、電線類の地中化により電柱を無くすなどの取り組みを進めています。

都市計画道路補助205号線（西大井）



整備前

整備後

No.49 だれもが安心して利用できる安全な公園づくり

公園・児童遊園の整備に併せて、出入口の段差解消や車いす対応型水飲み場の設置などを進めています。

東大井三丁目児童遊園



整備前

整備後

その他、鉄道駅への各種助成等を行っています。（可動式ホーム柵整備、エレベーター等整備、ホーム内方線付き点状ブロック整備）



整備前

整備後

4 事業者に対するユニバーサルデザイン推進の支援

計画掲載 P.46~50

- (1) 事業者への意識啓発
- (2) 施設整備の支援
- (3) 補助制度の活用促進
- (4) 評価・改善のしくみづくり

4 事業者に対するユニバーサルデザイン推進の支援

No.54 やさしいまちづくり推進協議会を通じたネットワークの拡充

年1回、地域住民・地域活動団体・障害者団体の代表者や鉄道・バス事業者等により構成する「やさしいまちづくり推進協議会」を開催し、区・事業者からの最新の関連事業の報告や情報交換・意見交換を行っています。ハード・ソフト両面の施策について情報交換を行うことにより、日常生活で感じている不便な点等についての意見交換もなされ、委員へ関連事業への理解を深めてもらうとともに、区としても今後のまちづくりの方向性の参考としています。



29年度開催の様子

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
1. ユニバーサルデザインの普及啓発	地域福祉の推進	1	○	地域福祉計画関連事業の推進		
	地域住民等によるさまざまな自主的な取り組みの推進	2	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.45 83(ハチサン)運動の充実」参照		
	学校教育や生涯学習等による学ぶ機会の充実	3	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.14 ユニバーサルデザインの普及啓発」参照		
	「おたがいさま運動」の推進	4	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.68 おたがいさま運動(支えあいの意識づくり)」参照		
	バリアフリーやユニバーサルデザインの意識啓発(バリアフリー住宅の普及啓発)	5		平成5年4月から、高齢者が住み慣れた地域(在宅)で長く暮らせるよう、加齢対応型住宅や福祉機器および住宅改修に関するノウハウの普及啓発を図るため、住宅改修アドバイザー派遣、福祉機器展示(バリアフリー住まい館)、住宅改修テキスト作成等を行ってきた。 高齢区民以外にも、バリアフリー住まい館は区外、外国からも見学者を受け入れ、住宅体験セミナーは自治体、各種団体、企業等を対象とし、住宅改修講習会はケアマネ、住宅改修事業者等へ実施、福祉機器展等を開催するなど先駆的事业として一定の評価を得た。 バリアフリー住まい館は住宅に設置された状態の実物に接することができたが、展示された機器はある時期の介護状態の方に対してのみ有用であり対象が限定的であったため、機器の老朽化もあり平成23年度末をもって閉館、バリアフリー住宅普及啓発事業は平成24年度に終了した。		終了
	バリアフリーやユニバーサルデザインへの意識づくりのための規制・誘導の手法などの検討	6		ハード整備の基本構想としてのバリアフリー計画を策定し、鉄道、道路、交通管理者などに対し、短期・中期・長期の改善計画とした特定事業計画を策定してもらい、計画的で段階的な整備事業の進行管理を行い、バリアフリーの面的整備を促進した。 また、ハードとソフトの一体的な事業を検討については、都発行「福祉のまちづくりにおけるソフト面の取組のより一層の推進に向けて」(平成27年10月)、「これまでの福祉のまちづくりの進展を踏まえたより望ましい整備の方向性について」(平成29年11月)を指針としている。	大井町駅周辺地区・旗の台駅周辺地区におけるバリアフリー計画の策定により、規制・誘導の手法などの検討を行った。 今後も、利用者の視点に立ったハードとソフトの一体的な事業の検討を継続する必要がある。	継続

※「計画重複」…地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の方向性
1. ユニバーサルデザインの普及啓発	地域福祉を担う人材の育成と連携	7		各学校が市民科学学習の中で、様々な体験活動を実施している。	発達段階に応じて、高齢者・障害者理解を適切に進められている。	継続
		8	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.3 多様な地域の人材による相談・支援活動の充実」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.19 認知症サポーター養成事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.64 市民後見人養成事業の充実」参照		
	福祉専門職の資質向上支援	9		<p>●平成14年にケアスタッフの専門性・実践力の向上を図り、福祉人材の育成拠点とする「品川福祉カレッジ」を開設した(運営委託先:品川介護福祉専門学校)。平成17年より認知症ケア専門コースを開設し、介護職場の課題や区民の福祉ニーズに応じた講座を実施している。</p> <p>(1)対象:ケアマネジャー、主任ヘルパー等、介護・福祉サービスの実務に従事する者</p> <p>(2)カリキュラム:実務経験者を対象とした地域特性に適った再教育、演習を重視した体得型の実践性の高いカリキュラム、受講者の実務能力アップに有効な講師陣(ネットワーク)を確保し、各種講座を実施。</p> <p>●平成22年度から介護職員初任者研修受講費助成を実施。(助成人数 延317人 毎年約40人)</p> <p>●平成24年度から初任者研修の実施を福祉に関する人材養成事業を実施(委託先:特定非営利活動法人品川ケア協議会)。(研修修了者 延155人 毎年約25人)</p> <p>●平成29年度から品川介護福祉専門学校による介護福祉士実務者研修コースの受講費の一部を助成している。 (受講者 22人、交付人数 15人、介護福祉士資格取得者約15人)</p>	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ケアマネジャーをはじめとする福祉サービス従事者の専門性・実践力の向上を図る各種研修カリキュラムを実施し、福祉人材の育成を図り、講座体系・内容の研修開催について今後も改善・充実を行い、継続して実施する。	継続
		10	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.65 コーディネーターの育成」参照		

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
1. ユニバーサルデザインの普及啓発	「ふれあいサポート活動」と連携したしくみづくり	11	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.7 支え愛活動会議の充実」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.28 生活支援体制整備事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.53 地域の活動を推進するための情報共有」参照		
	ボランティア、NPO、福祉団体等の活動の支援	12	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.16 高齢者外出習慣化事業の拡充・支援」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.56 サロン活動の拡充」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.58 ほっと・サロンの運営支援」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.59 高齢者社会参加促進支援事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.61 子ども食堂ネットワーク構築支援」参照		
	地域活動・交流支援	13	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.41 子ども若者応援フリースペース等運営委託事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.43 子育て応援プログラム事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.60 シルバーセンター等の有効活用」参照		
	身近なサービスによる高齢者、障害者等の見守り支援の拡大	14	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.5 制度の対象とならない人への対応」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.11 成年後見サービスの拡充」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.19 認知症サポーター養成事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.23 さわやかサービス・たんぱつサービスの充実」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.30 精神障害者の地域生活支援」参照 養育支援訪問		
	子育て中の親子を支えるしくみづくり	15	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.6 しながわネウボラネットワーク」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.31 療育支援体制の整備、強化」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.32 日中一時支援事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.33 発達障害・思春期サポート事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.34 重症心身障害児(者)通所事業ピッコロ」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.46 すくすく赤ちゃん訪問事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.47 ファミリーサポート事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.48 親育ち支援事業」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.49 養育支援訪問」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.50 一時保育」参照		
	参画と協働のしくみづくり	16	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.57 地域貢献ポイント事業」参照		

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」…地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
2. だれもが安心して外出できるしくみづくり	さまざまなメディアを活用した情報提供体制の強化	17	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.55 地域で活動したい人への情報提供の拡充」参照		
	区ホームページ、行政文書等におけるユニバーサルデザインの推進	18	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.54 支援を必要とする人への情報提供体制の充実」参照		
	移動支援サービスの充実	19	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.20 買い物支援の実施・充実」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.21 高齢者等の外出同行支援事業」参照		
	利便性の高い公共交通網の整備	20		地域における需要に応じた住民の生活に必要な事項を協議することを目的とした品川区地域交通検討会を組織し、区内の公共交通に関して検討した。	鉄道駅やバス路線網において他の自治体と比べても利便性の高い地域となっており、都市計画道路の開通など、交通網の整備に合わせバス事業者等に路線の拡充を求めていく。	継続
	子育て中の親子が外出しやすい施設の整備	21	○	・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.42 親子サロン」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.44 親子のひろば」参照 ・地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.51 子育て交流ルーム」参照		
	わかりやすい街なかのサインの整備	22		国や都において、多言語対応やピクトグラムについての新たな考え方が提示されたため、平成30年3月にサインマニュアルを更新し、関係課に周知・活用を促進した。	東京2020オリンピック・パラリンピックや再開等にもなうまちの変化があるため、随時サインマニュアルを更新し、サイン設置課において活用した。	継続

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
2. だれもが安心して外出できるしくみづくり	観光案内の充実	23		<p>①歩行者用観光案内標識の設置 平成18年度から区来訪者への利便性向上を図るため、実施。平成21年3月に「観光案内標識設置計画書」を作成し、来訪者が多い地域を中心に順次観光案内標識を設置している。 (29年度実績) ○設置(2件) 京急鮫洲駅周辺、京急立会川駅周辺 ○更新(1件) 大崎広小路駅周辺</p> <p>②ココシル品川(アプリの提供) AR機能を活用してしながわ百景などを楽しく散策できるアプリでは、スタンプラリーやツアーコースのほか、イベント情報の配信を行っている。</p> <p>③観光案内パンフレットの充実 しながわ観光協会が発行するパンフレット作成において、まち歩きを楽しんでもらう観点で、多言語化、多機能化を推進している。</p>	<p>①左記の計画に基づき毎年地域を変えて、0～3基程度、設置・更新を行った。</p> <p>②③外国の方向けには多言語化のほか、食べ物について配慮した記載や、選りすぐりのおもてなし店を掲載した冊子など、多機能化も充実させている。 今後も多角的に区の魅力発信とともに、外出したくなるきっかけとなるような案内の充実を図っていく。</p>	継続
	違法駐車・違法駐輪、はみ出し看板、商品陳列など安全な通行を妨げる行為の指導・取締まり	24		高齢者や障害者の安全な通行を確保するため、駐輪場の整備や放置自転車の撤去活動、放置防止の啓発活動を実施した。	(課題) 駅周辺で駐輪場を整備するまとまった用地の確保が困難なため、今後、地下機械式等の新たな手法による駐輪場整備を検討する。 放置禁止区域外に放置自転車が目立つようになり、対応に苦慮している。 引き続き警察、商店街、鉄道事業者等と連携し、放置防止に取り組んでいく。	継続
		25		しながわ景観美化隊として、道路等の違法掲出はり紙などの広告物について、除却活動を行った。	(成果) ボランティアが主体的に除却活動を実施し、道路の環境美化づくりに寄与した。 (課題) 現在23団体が登録して除却活動しているが、各種団体の詳細な活動内容を把握できていない。	継続

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の方向性
2. だれもが安心して外出できるしくみづくり	交通違反マナー啓発・交通安全教育の充実	26		高齢者の交通事故防止のため、区内各警察署等と連携して、交通安全講習の開催や刊行物の配布等の交通安全対策を実施した。	(成果・29年度実績) 高齢者交通安全教育推進委員会の開催(1回) 交通安全講習会(高齢者交通安全モデル地区)の開催(4回) 刊行物(お元気だより)の発行(4,130部) 引き続き高齢者の事故防止の啓発に努めていく。	継続
	避難所における災害時要援護者支援の強化	27		各避難所毎に作成された避難所運営マニュアルについて、要配慮者や女性・子ども等の視点を考慮したマニュアル更新支援業務について、平成30年度委託にて実施予定である。	-	継続
	災害時助け合いシステムの充実	28	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.8 品川区要配慮者支援体制の充実」参照		
	工事中の歩行者のためのユニバーサルデザインのルールづくり	29		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度、工事中の歩行者のためのユニバーサルデザインガイドラインを作成。 路上工事対策確認会議にて上記を周知。(160名参加) 占用工事等の条件に明記する。 	18年度から占用企業者、建設防災協議会、工事請負者及び区工事担当職員を対象とした路上工事対策確認会議を実施し、毎年150名程度の参加者があり、多くの工事関係者にユニバーサルデザインガイドラインを周知している。	継続
	防犯の意識啓発と情報提供	30	○	地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.40 品川区要保護児童対策地域協議会(品川区子ども家庭あんしんねっと協議会)」参照		
	住民による防犯対策の推進	31	○	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.39 地域での見守り」参照 地域福祉計画の取り組み状況一覧「No.45 83(ハチサン)運動の充実」参照 		

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
3. 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進	拠点施設周辺における福祉のまちづくり重点地区の設置	32		「大井町駅周辺地区バリアフリー計画(平成27年3月策定)」において示した特定事業の計画的かつ着実な実施に向け、平成27年12月に「大井町駅周辺地区特定事業計画」を策定した。本計画に基づき各事業主体はバリアフリー化の取組を推進する。 ○平成29年度の事業の進捗により「大井町駅周辺地区特定事業計画」の改定(更新)を行った。	鉄道、道路、交通管理者などに対し、短期・中期・長期の改善計画とした特定事業計画を策定してもらい、計画的で段階的な整備事業の進行管理を行い、バリアフリーの面的整備を促進した。	継続
		33		「旗の台駅周辺地区バリアフリー計画(平成29年7月31日策定)」において示した特定事業の計画的かつ着実な実施に向け、平成29年11月に「旗の台駅周辺地区特定事業計画」を策定した。本計画に基づき各事業主体はバリアフリー化の取組を推進する。 ○まち歩き点検調査 平成28年10月3日、12日 ○計画策定協議会 第1回 平成28年9月20日 第2回 平成28年12月2日 第3回 平成29年2月16日 第4回 平成29年6月26日 ○バリアフリー計画 平成29年7月31日(策定) 平成29年8月1日(公表) ○特定事業計画 平成29年11月30日(策定)		
	34		百反歩道橋架替整備 大崎駅再開発事業における歩道橋の架替えにあわせエレベーター(自転車対応)および斜路付階段を整備(平成27年1月30日供用開始)	老朽化の進んだ歩道橋を地域のまちづくりにあわせ、バリアフリーなどの機能を強化した。今後も、再開発事業においてバリアフリー、ユニバーサルデザインを推進していく。		
	公共施設や商店街等におけるユニバーサルデザインの推進	35		おもてなしトイレ整備(29年度) 誰でも利用しやすいトイレにするため、便器の洋式化やだれでもトイレの設置等を4箇所の公衆便所・公園便所で実施した。	平成29年度からオリンピック・パラリンピック会場やターミナル駅周辺および主要観光ルートである旧東海道・目黒川周辺の公衆便所・公園便所の洋式化を行っており、4箇所で実施した。 今後は品川区内すべての公衆便所・公園便所の洋式化を行っていく。	拡大

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の方向性
3. 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進	施設内の案内・移動介助員の配置	36		旅客交通事業者、大規模小売事業者などが、サービス介助士を育成・配置し、高齢者や身体の不自由な客など、だれもが安心して外出ができるよう、ハード面の整備だけでは実現できない移動の円滑化をソフト面のサービスで介助している。		継続
	手話通訳者などコミュニケーション手段の充実	37				
	安全な生活道路・歩行者空間の整備	38		(29年度報告) 道路改修に合わせ、道路のバリアフリー化(側溝の段差解消・歩道の平坦化)及び視覚障害者誘導ブロックの設置を行い、歩行環境の向上を図った。	側溝の段差解消をはじめ、大井町駅周辺および旗の台駅周辺のバリアフリー計画に基づく歩道勾配の改善や視覚障害者誘導ブロックの整備を行っている。 今後とも駅周辺の計画エリアにに限らず、段差や歩道勾配の改善が必要な箇所が多く存在するため、計画的に整備、改修する必要がある。	拡大
		39		私道の階段や急こう配の坂道に手すりを設置する場合、私道所有者の申請により工事を受託する。 これにより私道の歩行環境の向上を図っていく。 平成29年度は、手すり設置工事の申請が1件あり、平成30年度に階段の改修(緩こう配化)工事を実施する。(平成30年7月予定)	私道の階段や急こう配の坂道に手すりを設置する場合、私道所有者の申請により今後も工事を受託し、私道の歩行環境の向上を図っていく。	継続
		40		視覚障害者の移動の安全確保・円滑化のために設置された視覚障害者誘導用ブロック等の点検・補修等を適宜行っている。	視覚障害者の移動の安全確保・円滑化のために設置された視覚障害者誘導用ブロック等の点検・補修等を実施した。	継続
	41		(24年度報告) 高齢者・障害者が道路を横断する際に横断しやすい信号機の設置 区内設置数 歩行者青信号延長信号機:総設置数41箇所 音声式信号機:総設置数44箇所 経過時間表示機能付信号機:総設置数24箇所(ゆとりシグナル)	24年度報告時の区内設置数に対して29年度は、音声式信号機が21箇所、歩行者青信号延長信号機および歩行者青信号延長信号機は合わせて37箇所増加している。 引き続き警視庁本部、各警察署と連携し、高齢者・障害者が道路を横断する際に横断しやすい信号機の設置に取り組んでいく。	継続	

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」…地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の方向性
3. 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進	快適な道路空間の創出	42		オリンピック・パラリンピック施設周辺道路の無電柱化事業を進めている。 ◇引込・連系設備工事:1,030m	平成29年度は、1,030m区間に引込・連系管敷設工事を行った。	継続
		43		(29年度報告)都市計画道路補助163号線歩行者が歩きやすい空間を確保するため、東急大井町線ガード拡幅工事を実施している。 ◇東急大井町線ガード拡幅工事約80m	今後は、現況歩行者通行経路の迂回路を設けるため、十分な安全対策が必要となる。	継続
		44		(28年度報告)都市計画道路補助205号線西大井駅付近のジェイタワー西大井前から西大井広場公園までの約130m区間で、道路の両側に新たに歩道を設置するとともに、電線類の地中化により電柱を無くすなど、歩行者が歩きやすい空間を確保する。(平成28年度事業完了) ◇電柱撤去:6本 歩道設置:120m 歩道幅員:3m	6本の電柱を撤去し、新たな歩道空間の確保ができた。	継続
		45		(27年度報告)道路・公園等の監察事務安全で快適に道路等を利用できるようパトロールを実施した。また、商店街等を中心に警察、商店街組合等と連携した合同パトロールを実施した。	(成果) 毎月継続的に合同パトロールを実施してきた結果、立て看板等の不正使用が減った。 (課題) 不正使用を指導し一時的に撤去した場合でも、しばらくすると再び不正使用が繰り返される。	継続
		46		(27年度報告)商店街電線類地中化事業戸越銀座地区において、電線類の地中化により電柱を無くし、歩行者が歩きやすい歩道空間を確保している。	46本の電柱を撤去し、新たな歩道空間が確保できた。	終了

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」・・・地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の方向性
3. 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進	快適な道路空間の創出	47		(24年度報告)都市計画道路補助18号線 都市計画道路において、電線類の地中化により電柱を無くし、道路の両側に新たに歩道を設置し、歩行者が歩きやすい歩道空間を確保する。 【補助18号線:完了】 目黒区境から南側約80m区間 ○地中化完了区間:80m、電柱撤去:5本 ○歩道設置区間:80m、歩道幅員:3m	目黒区境から南側約80m区間において、5本の電柱を撤去し、新たな歩道空間の確保ができた。	終了
	だれもが安心して利用できる安全な公園づくり	48		(29年度報告)公園・児童遊園整備 公園出入口や公園施設のバリアフリー化を進めると共に、だれでもトイレを4箇所設置した。	公園・児童遊園を整備する際には出入口や公園施設をバリアフリー化すると共に、トイレを改修する際にはだれでもトイレを設置している。 引続き、だれもが安心して利用できる安全な公園づくりを進めていくと共に、ユニバーサルデザインを考慮した遊具なども整備していく。	継続
		49		(29年度報告)公園バリアフリー事業 出入口の段差解消や車いす対応型水飲みの設置を1公園について実施した。	出入口の段差解消は平成29年度で完了となった。 引続き、公園・児童遊園の整備に併せて福祉対応型の水飲み台設置、園路の整備、階段・傾斜路への手摺設置、警告タイル敷設など、公園内のバリアフリー化を実施していく。	継続
	鉄道駅と車両のバリアフリー化整備継続と移動介助の充実促進	50		鉄道駅への可動式ホーム柵整備に対し助成を行い、バリアフリー化を図った。	区では平成23年度に東急大井町線大井町駅をはじめ、28年度は大井町線中延駅、29年度は、JR京浜東北線大井町駅、大井町線荏原町駅のホーム柵の供用が開始され、だれもが安全・安心な駅中の実現に向け、整備促進を図った。	継続

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」…地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
3. 公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進	鉄道駅と車両のバリアフリー化整備継続と移動介助の充実促進	51		(29年度報告)鉄道駅エレベータ等整備助成 鉄道駅へのエレベーター整備に対し助成を行い、バリアフリー化を図る。 ○JR京浜東北線 大井町駅における土木・機械設置工事に対する助成。(平成31年度内完成予定)	区では平成11年度に東京モノレール大井競馬場前駅をはじめ、25年度に東急大井町線下神明駅を最後に、鉄道駅に係るバリアフリールートがワンルート確保することができた。	継続
		52		(27年度報告)鉄道駅ホーム内方線付点状ブロック整備 視覚障害者が、どちらがホームの内側か、杖や足で判断できる線状突起(内方線)付きの点状ブロックの整備を促進する。 ○りんかい線天王洲アイル駅における整備に対する助成	内方線付点字誘導ブロックの整備助成については、平成25年度にりんかい線品川シーサイド駅、27年度にりんかい線天王洲アイル駅に設置され、視覚障害者が駅ホームから転落防止策を図ることができた。	継続
	バス路線の整備拡充とノンステップバスの導入促進	53		大井町駅周辺地区バリアフリー計画を策定し、特定事業計画として位置づけ、バス事業者に対し改善を促した。	平成27年度中に大井町駅を発着する路線バスについては100%導入が完了。	継続
4. 事業者に対するユニバーサルデザイン推進の支援	やさしいまちづくり推進協議会を通じたネットワークの拡充	54		年1回、地域住民・地域活動団体・障害者団体の代表者や鉄道・バス事業者等により構成する「やさしいまちづくり推進協議会」を開催し、区・事業者からの最新の関連事業の報告や情報交換・意見交換を行った。	ハード・ソフト両面で情報交換を行うことにより、それらへの質疑応答にとどまらず、日常生活で感じている不便な点等についての意見交換もなされ、出席者へ関連事業への理解を深めてもらうとともに、区としても今後のまちづくりの方向性の参考としている。	見直し
	啓発パンフレットの作成	55		都発行「区市町村・事業者のための心のバリアフリー及び情報バリアフリーガイドライン」を窓口にて配布している。	バリアフリーやユニバーサルデザイン自体の認知度は高まっているが、バリアフリーがハードに限定されるものでなく、心のバリアフリーや情報バリアフリーといった視点があることを継続して周知していく必要がある。	継続
	商店街への働きかけ	56		だれでもトイレの設置や障害者・高齢者用のサイン表示、案内設備の設置・改修等、商店街の環境整備に対する都の補助制度の周知を行っている		継続

やさしいまちづくり計画で推進する事業の取り組み状況一覧

※「計画重複」…地域福祉計画の取り組みと重複する事業。重複の場合は、原則地域福祉計画取り組み実績を参照することとする。

施策の柱	事業名 (冊子掲載名称)	No.	計画 重複	取組実績	評価 (成果・課題)	今後の 方向性
4. 事業者に対するユニバーサルデザイン推進の支援	関連法令の周知	57		区ホームページ等において、「品川区建築物等の福祉に関する整備要綱」「品川区中高層建築物等の建設に関する開発環境指導要綱」「東京都福祉のまちづくり条例」などの関連法令の周知を図っている。	今後も法令の動向を見ながら必要に応じて関連情報を周知する	継続
	補助制度の情報提供、窓口紹介	58		事業所や商店が環境整備に取り組む場合の融資あっ旋や商店街が環境整備に取り組む場合の都の補助等、制度の紹介、情報提供を行う。(実績なし)		継続
	移動支援サービスの充実や理・美容室等のバリアフリー化に対する補助制度の導入検討	59		高齢者や障害者などの社会参加や生活利便性の向上のため、道路運送法に基づく団体登録を受けた事業者が会員に対し、個別輸送サービスを行った。 (平成29年度実績) 1,477回	今後も移送サービスを必要としている利用者へ適切なサービスを提供するため、新規に登録希望する団体があれば、適正に運用を審議する。	継続
	住民の意見の幅広い聴取	60		次期地域福祉計画策定に伴う区民のニーズ調査として、平成29年度に5,000人を対象に地域福祉ややさしいまちづくりに関するアンケート調査を実施した。 また、同様の目的で、各地区で開催されている地域住民代表者の会議(支え愛活動会議)においても、地域課題や今後の地域福祉についての意見を聴取した。	アンケートについては回答率が40%に満たなかったものの、選択肢回答だけでなく、貴重な自由意見を多数いただいたため、会議での意見とあわせて今後の地域福祉を考える上での区民の意見として参考にする。	継続
	ユニバーサルデザインを点検する区独自の「指標」と「プログラム」の作成	61		ハード面の整備だけでなく、高齢者や障害者等に対する人的対応など、福祉の観点によるソフト的な取り組みも考慮し、平成20年度にユニバーサルデザインの達成度合いを示す区独自の指標・点検プログラム(案)を作成・検討した。		